

令和7年度 入学式 校長式辞

校歌の歌い出しにあるように、おだやかな陽につつまれて、満開の桜の花の間から清らかに光り輝く若葉のような新入生を迎え、東京都立大泉桜高等学校第21回入学式を、御来賓の皆様、保護者の皆様御列席のもと挙行できること、校長としてうれしく思っております。

ただ今入学を許可した196名の新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんはこれまで自分を見つめて進路を考え、本校を選び自らの力で試験に合格し、入学を果たしました。まずは、皆さんが高校入学という目標に向けて努力し、その目標を達成したことをたたえます。本当によく頑張りました。今日から共にこの大泉桜高等学校で学んでいきましょう。

さて、入学式に当たり本校のスクール・ミッション、教育目標についてお話しします。本校は、生涯にわたって学び続けることができる主体的な生徒、責任感と規範意識を持つ社会に貢献できる生徒、将来への意欲や目的意識を持つ自立した生徒、の育成を目指しています。この三つの生徒像について、お話しします。

最初に示す「生涯にわたって学び続けることができる主体的な生徒」についてです。言うまでもなく現代は、変化が激しくまた不確実な時代と言われています。現代社会を生き抜くには、常に学び続け、新しい知識や技術を身につけることが必要です。学校では、知識を身につけるだけでなく、学び続ける姿勢、態度、学びに向かう人間性を身につけてはいけません。

そのためにも、学習習慣を身につけ、学校の授業以外にも、自分で学習する力をつけましょう。授業で出される学習課題や授業の予習復習に取り組み、提出期限を守りましょう。高校でも、一人1台自分専用のパソコンを使います。文房具のようにパソコンを使いこなすことで、学習習慣を身につけましょう。本校は、生徒の自力学習時間を1時間以上、という目標を示しています。1日最低1時間は自分で学習に取り組みましょう。

スクール・ミッションの2番目に示す「責任感と規範意識を持つ社会に貢献できる生徒」についてですが、社会で生きるためには、社会のルールを守り、自分の責任を果たすことで、他人に認められる人物でなくてはなりません。本校では、クラスでの係分担や委員会活動、部活動などをおして責任感を養っていきましょう。明日からのホームルームで、係や委員を決めていきます。また、5月の校外学習、6月の体育祭に向けても準備が始まります。積極的に学校行事にも取り組みましょう。規範意識とは、ルールを守る意識のことです。校則や時間を守ることも、学校という社会では必要です。身だしなみを整え、遅刻せず学校に通うよう、習慣づけましょう。そして社会で認められる人になってください。そもそも、社会のルールとは、お互いを認め合い、お互いの命を大切にするためにあります。命を大切し、他人や自分を傷つけないことは、いじめを許さないことにもつながります。ルールを守りお互いの存在を大切にし、穏やかで楽しい学校生活にしていきましょう。

スクール・ミッションの3番目にある「将来への意欲や目的意識を持つ自立した生徒」ですが、みなさんは今日の入学式を迎え、高校生活で取り組みたいことや高校卒業後の進路

など、さまざまな夢を抱いているのではないのでしょうか。春休みの宿題で皆さんには「大泉桜高校に入学するにあたって」という作文を書いてもらいました。そこには、何を書いたのでしょうか。

今日入学の日に、夢の実現に向けて努力するという誓いを立てましょう。さっそく来週から面談週間が始まります。不安や悩みは先生をはじめ、周りの大人に相談しましょう。私たち教職員は、みなさんの夢の実現を応援します。やがて科目選択、進路選択の時期もやってきます。進級・卒業に向けて、キャリアガイダンスの授業や実力テストなどに真剣に取り組んでいきましょう。新入生の皆さん、これからの3年間、本校での学びと生活を充実させて、卒業の日には、未来を切り開く力、未来の社会を生き抜く力を身につけて卒業していくことを期待しています。

保護者の皆様、本日入学式を迎えましたことをお慶び申し上げます。御家庭でも、新入生が自らの力で、自分の進路を実現させたことを、たたえていただきたいと思います。そして引き続き、御家庭でも生徒をあたたかく見守り、本校へ毎日送り出していただくよう、お願いいたします。御家庭と学校で共に手を携え、生徒の生活と成長を支えていただけるよう、お願い申し上げます。

結びとなりますが、教職員一同、新入生を暖かく、時には厳しく励まし、支え、未来を切り開く力をはぐくむことをここに誓い、式辞といたします。

令和7年4月8日

東京都立大泉桜高等学校 校長 尾崎 肇